

工事完成

国道140号（新山梨環状道路東部区間Ⅱ期）濁川・平等川橋（仮称）橋梁下部工事その1（一部債務）

工期：平成30年10月～令和2年5月 施工者：早野組・望月組土木JV

工事概要： 橋梁下部工（A1橋台） 箱式橋台 H=14.3m V=2,414m³
場所打杭（φ1500） L=47m N=35本 護岸工 A=470m² 仮設工 一式



施工前

ケーシング回転工法

ケーシングチューブ（とても固い筒のような物）に圧をかけながら回転させ、地中内にある岩盤や障害物を粉碎しながら、掘り進めていきます。



先端はまるで牙のようです!!

掘った際に出た泥水は、一度タンクに溜めて水質検査を行い、水を綺麗な状態にしています。



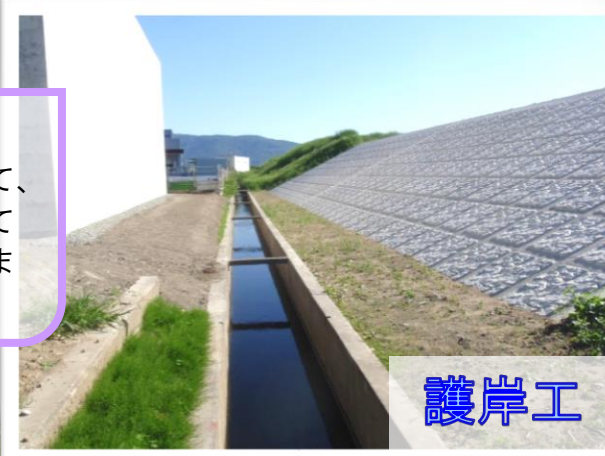
処理前



処理後

黒く濁った水も処理後には透明に

固めた土の面にブロックを並べて、隙間を埋め固めて護岸工が完成します。



護岸工



橋梁下部工



チューブの中に杭の骨組みとなる籠を入れています。

籠は一つ一つ現場で作り上げています。

トレミー管（コンクリートを流し込むための管）を籠の中に入れ、基礎となる杭を造っていきます。



斜面を整えて固めます。

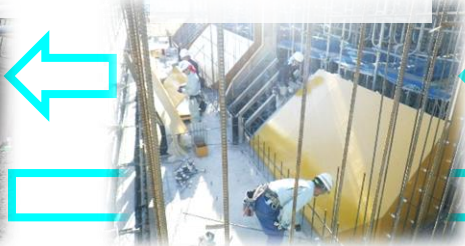
比重を軽くするために中は空洞になっており、点検作業ができるようにドアが付いているというちょっと珍しい橋台です。

鉄筋を組んで枠組みとなる板を組み立て、コンクリートを流し込む等の作業を繰り返して、橋台部分が完成します。

コンクリートを流し込む



板を組み立てる



鉄筋を組む

